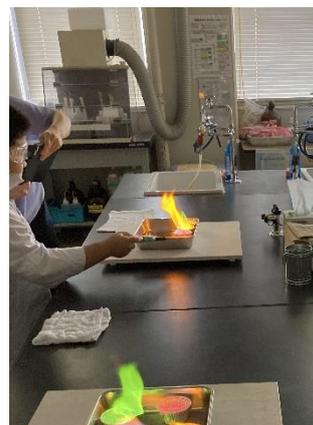
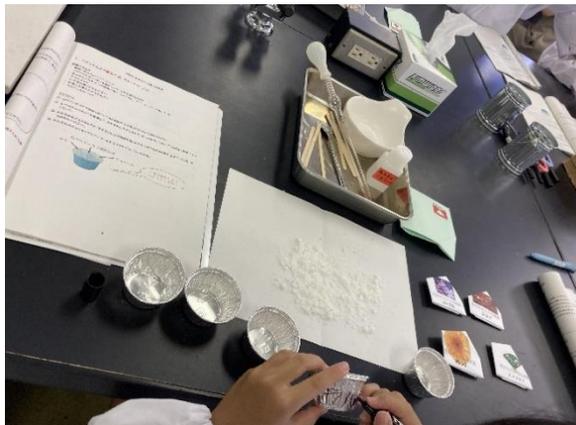


「広島大学体験化学教室」の活動を見学しました。

2024年8月6日(火)東広島市の広島大学で行われた「体験化学教室」を見学しました。この教室は、広島大学の石原先生など4名の先生が中心となり企画運営されるものです。近年小学校では、安全面への配慮から、アルコールランプやガスバーナーなどを使った実験を減らしています。本活動は、先生方がこのような体験の重要性を感じられ、大学の広い実験室を利用し、学生の皆さんにも協力いただくことで安全



面に配慮することで実現しています。この「体験教室」は2日間に渡って行われ、4つのテーマで実験が行われました。対象者は小学3年生、4年生、参加者は12名で行われました。見学させていただいた初日は、カラーキャンドルの実験と、ガラス管を用いたガラス細工の実験を行いました。

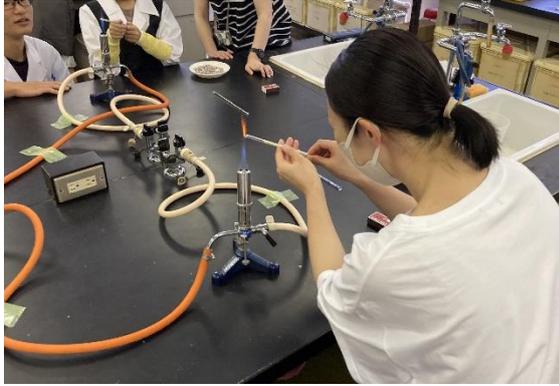


カラーキャンドルの実験の様子



ガラス管を用いたガラス細工は、ガラス管の中にガラスビーズが封入されたマドラーを製作しました。片方を閉じてあるガラス管にビーズを入れ、ガスバーナーを用いて、ガラス管の空いている側を加熱し、閉じる作業を行いました。参加した子ども達は、ガスバーナーはもとより、マッチで火をつけた経験もないため、マッチを使って火をつけることから、丁寧に教えられているのが印象的でした。

色とりどりのガラスビーズをランダムに入れたり、規則性を持たせて入れたり、個性が現れるマドラーを製作されていました。ガラスを熱して溶かし、変形させてガラス管が閉じる現象は、普段体験できないこともあり、小学生の皆さんは、夢中になって作業されていました。



希望される保護者も自分で体験することもでき、数名の方が実際にガラス細工体験をされていました。保護者も一緒に楽しめる企画はとても良いと思います。子どもに興味を持たせようと考える際に、大人が楽しんでいる、興味を持っている姿を見せることはとても重要だと感じます。
(佐々木)